



住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
令和6年1月9日
令和5年度 第10号

チーム力で課題を解決する

副校長 進藤 智洋

新年明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様には、昨年中は本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、誠に感謝しております。ありがとうございました。今年も引き続き、よろしくお願いいたします。

本番で最高のパフォーマンスを発揮する

お正月に「箱根駅伝」をテレビ中継で見た方はお気付きになったかと思いますが、今回は新型コロナウイルスが第5類に移行したことを受け、選手の走りを見ようと沿道はたくさんの観戦する人々であふれていました。また、1920年から始まった箱根駅伝が第100回を迎えたということで、さらに注目度も高まっていました。



この大会が長い間多くの人々を熱くさせ、関心を集めるには様々な理由があると思いますが、各大学がどのようなレースを展開するのかを注目して応援するために観戦しています。「走る」という運動そのものは一人で行うものですが、目標とする自己記録の達成だけでなく、レース展開に応じてチームにいかに関与できるかを大切にしながら、全力を出し切る、出そうとする選手の姿に感動を覚えるのだと思います。大会当日には、監督・コーチからの思いあふれる声掛けや仲間が給水時に選手に寄り添って伴走し、ただドリンクを渡すだけでなく、きっと激励の言葉も添えられているのではないのでしょうか。その他にも体調管理、栄養サポート、道具の改良など、有形無形の支援があつての駅伝であり、選手は決して“一人で走っていないこと”が容易に想像できます。また、本番のために1年間練習を重ね、時には怪我や不調に苦しみながらも、乗り越えようと努力してきた姿を想像できるから応援したくなるのだと思います。

今回総合優勝を果たした青山学院大学の原監督が掲げた「負けてたまるか！大作戦」。2年連続の学生駅伝3冠を目指し優勝の大本命であった駒澤大学に対して見事に競り勝つ走りでした。2位に終わった駒澤大学の藤田監督も、すぐに反省を口にし、次を見据えて改善を図ろうとしています。

いかにして、選手は本番で最高のパフォーマンス（走り）を発揮しようとしたのか、どんな計画を立て、目標達成のための準備をしていたのか、各選手とチームの力から多くのことを学びたいと思います。

困難を乗り越える

元日の夕方に、能登地方の震度7という大地震のニュースが飛び込んできました。まさか新年早々にこんなことが起こるなんてと驚かれた方も多かったと思います。私自身は秋田港からほど近い帰省先で過ごしており、被害の大きかった北陸と同じ日本海側ということで、地震と津波の両方の心配をしていました。

学校で行っている避難訓練では、「災害はいつどこで起こるか分からない、自分の身は自分で守れるように備えよう（自助）」と繰り返し指導していますが、日本に住んでいる以上、自分事として考えなければいけません。この災害対策の基本となる自助と共助（地域の役割）と公助（行政の役割）が、うまく機能的にそれぞれの役割を発揮し、人命の救助やライフラインの一刻も早い復旧が望まれます。

改めて、地域の皆様をはじめとする学校関係の方々とともに手と手を取り合い、今後待ち受ける様々な課題に備え、チームで一つ一つ確実に解決に当たれるよう重ねてお願いをいたします。

〈オーケストラ鑑賞教室：5年生〉

12月8日（金）、府中の森芸術劇場どりーむホールにてオーケストラ鑑賞教室が行われ、5年生が参加しました。指揮の青島広志先生のテンポの良い楽しいお話とともに「楽器紹介」や「カルメン」、「ハンガリー舞曲」「威风堂々」など本格的なオーケストラの生演奏にふれました。「雷鳴と稲妻」では会場全体でポルカを踊り、最後には児童の飛び入り指揮者による「ラデツキー行進曲」のアンコールまで、子供たちからは「あっという間に終わってしまった」、「楽しかった」という感想がたくさん聞かれました。



〈奉仕朝会 ～落ち葉はき～〉

12月13日（水）の朝の時間に、奉仕朝会として全校児童による落ち葉拾いを行いました。当日は平日にもかかわらず、多くの保護者の方にもお手伝いいただきました。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございます。ございました。

落ち葉拾いを楽しみつつも一生懸命に作業をする様子はとても素晴らしく「住吉の子はなんて素敵な子たちなんだろう。」と心が温かくなりました。あっという間の時間でしたが、大量の落ち葉が集まり校庭がすっきりとしました。作業をした子供たちも達成感を感じられた行事となりました。

また、来年度もご協力をよろしくお願いいたします。



〈包括的性教育授業：2年生〉

12月15日（金）に、国立成育医療研究センターと連携した性教育の授業を実施しました。講師に、大学の先生と助産師をお迎えし、厚生労働省所管の研究で開発された教材「まるっと！まなブック」を使用して授業展開されました。いわゆる生殖や性行動に関する知識だけでなく、人間関係や価値観、ジェンダーなど、人権教育にも通じる内容となっていました。命の誕生や自分の心と身体を大切にすることなど、2年生児童にも分かりやすい内容で、多くの学びがありました。

一人一人が、自己を取り巻く周りの人々に関心を持ち、より豊かな生活を送れるようにというメッセージをいただき、とても心に残りました。



〈 校内書写展 について 〉

1月22日、23日の2日間、校内書写展を開催します。

今年度は、人数や時間等の制限なくご覧いただけますので、ご都合の良い時間帯にお越しください。

○1月22日（月）：15：00～16：30

○1月23日（火）：15：00～16：30

※保護者の出入り口は児童の昇降口です。

※どの階の作品も鑑賞できます。

※児童と共に鑑賞することはできません。



冬休みに「書き初め」の練習に進んで取り組んでいる姿が見られたのではないのでしょうか。

学校では、冬休みの練習の成果を生かして、一人一人が落ち着いて手本に向かい、気持ちを集中させながら一文字ごとに丁寧に心をこめて清書を仕上げます。子どもの思いのこもった作品は、どれも力作ぞろいです。その思いをぜひ感じ取っていただければ幸いです。校内書写展では、作品を各教室の廊下に掲示します。

〈 持久走の取り組みについて 〉

1月24日（水）から2月9日（金）まで、各学年で持久走の取り組みがスタートします。体育の時間や休み時間に体力づくりの一環として行います。持久走は友達と競うのではなく、自分のペースで継続して行うことで体力の向上が期待できる活動です。また、持久走は心肺機能を高めることができるため、風邪の予防にもつながる効果も期待できます。お子さんの健康面等で配慮することがありましたら、担任までご相談ください。なお、大会など発表の場はありませんが、カードなどを使い、自分の頑張りが自分で分かる形で進めていきます。ご家庭でもお声掛けいただけると幸いです。また、睡眠、朝食、検温などのお子さんの健康チェックをお願いします。（水筒や汗拭きタオルなど、必要に応じて持たせてください。）

※児童の欠席状況などによって、実施期間の変更がある場合があります。ご了承ください。



〈 ユニセフ募金のご報告 〉

集まったお金 **20,313円**

募金活動にご協力いただき、ありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。

